

ぬくもりのある日本、 みんなが隠れた才能を もっている

文化庁・厚生労働省共催

公開シンポジウム

障害のある人たちが創造するアート

●挨拶

池坊 保子 文部科学副大臣

●パネルディスカッション

今中 博之 アトリエ・インカーブ エグゼクティブディレクター
社会福祉法人素王会理事長、一級建築士
澤田 史朗 滋賀県副知事
高木 金次 財団法人日本チャリティ協会理事長
建畠 哲 国立国際美術館館長
はたよしこ ボーダレス・アートミュージアム NO-MA アートディレクター
すずかけ絵画クラブ主催、絵本作家

日時 2008年6月28日(土)
14:00~16:00 (開場13:45)
会場 ホテル ヴィラフォンテーヌ汐留
1階 第1・2・3会議室
東京都港区東新橋1-9-2
参加費 無料

主催：文化庁、厚生労働省

参考：「アール・ブリュット / 交差する魂」展

《開催期間》2008年5月24日から7月20日まで

《場所》松下電工汐留ミュージアム

※ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (滋賀県近江八幡市)と
アール・ブリュット・コレクション (スイス・ローザンヌ)との
連帯による企画展

お問合せ先：文化庁文化庁芸術文化課企画調査係

TEL.03-5253-4111 (内線 2828)

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室

TEL.03-5253-1111 (内線 3076)

障害のある人たちによるアート作品は、
時としてその創造性の源泉からほとぼしり出る
自発的な表現ゆえに、既存の枠組みを突き破り、
見る人に深い感銘を与えるものです。
文化庁と厚生労働省は、昨年より、
共同で懇談会を設置し、
障害のある人たちによる
自由な芸術活動の推進について、
議論を重ねてまいりました。
今回は、その成果を発表するために
シンポジウムを開催いたします。

